

職業能力の評価・技能振興

1 職業能力の評価体制の整備

(1) 技能検定の実施

技能検定は、労働者の有する技能を一定の基準によって検定し、これを公証する技能の国家検定制度であり、労働者の技能習得意欲を増進させるとともに、技能及び職業訓練の成果に対する社会一般の評価を高め、労働者の技能と地位の向上を図り、ひいては産業の発展に寄与することを目的としています。昭和34年度から実施されており、合格者は「技能士」と称することができます。

検定職種は現在128職種が定められており、検定試験は実技試験及び学科試験があり、年2回、前期（6月～9月）と後期（12月～2月）に行われます。

合格者には、合格証書と技能士章が交付され、特級、1級及び単一等級については厚生労働大臣の、2級及び3級については熊本県知事の合格証書が交付されます。

また、平成5年度から外国人労働者の技能実習制度が創設され、現在51職種において3級及び基礎1級、基礎2級の3つの等級があります。

なお、技能検定試験の実施は、県からの委任により、熊本県職業能力開発協会が行っています。

(2) 技能士の処遇向上対策

技能士処遇向上の一環として、平成5年6月に、県、県職業能力開発協会及び県技能士会連合会の3者共同で「技能士資格手当の標準的処遇基準（案）」を策定し、関係団体等に提示しました。

また、技能者の処遇向上に努めるなど技能尊重の推進に著しい功績が認められる中小企業の事業所又は団体を顕彰するため、技能尊重推進功労者表彰を実施しています。

< 技能士資格手当の標準的処遇基準（案） >

区分	月額	日額
特級技能士	15,000円以上	700円以上
1級技能士、単一等級技能士	10,000円以上	500円以上
2級技能士	5,000円以上	250円以上
3級技能士	2,000円以上	100円以上

(3) 職業訓練指導員

公共職業能力開発施設及び認定職業能力開発施設において、普通職業訓練及び高度職業訓練の長期間の課程を担当する者は、都道府県知事の免許を受けなければならないことになっています。

職業訓練指導員免許に関する事務は、都道府県知事が行うことになっており、現在123種の免許職種があります。

職業訓練指導員免許証の交付

職業訓練指導員試験合格者、職業訓練指導員の講習修了者及びこれらと同等以上の能力を有すると認められる者等に申請に基づき交付しています。

職業訓練指導員の講習（48時間講習）

1級技能検定合格者及び有資格者に対して、職業訓練指導員の免許資格を与えるための講習を行っています。

講習については、昭和54年度まで県で実施してきましたが、昭和55年度から熊本県職業能力開発協会で行っています。

法改正前は、15年以上の実務経験を有する者で48時間講習を修了すれば免許資格がありましたが、昭和60年10月1日から原則として廃止されました。

職業訓練指導員試験の実施

一定の資格要件を満たす者を対象に学科試験を行っています。

2 技能振興の推進（技能尊重気運の醸成）

(1) 技能五輪全国大会

国内の青年技術者の技能レベルの日本一を競うことにより、青年技術者に努力目標を与え、我が国産業の技術水準を高め、更に、技能者の社会的評価を向上させるとともに、大会開催地域の若者に優れた技能に身近に触れる機会を提供する等、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重気運の醸成に資することを目的に、毎年技能五輪全国大会が開催されており、平成24年度は長野県を主会場として開催され、県から9職種に13人が参加し、銅賞1名敢闘賞2名の成績を収めました。県では、熊本県職業能力開発協会と連携して、本県から出場する選手に対し旅費・ユニフォーム代等の助成を行い、大会への参加を支援しています。

なお、平成25年度の「第51回技能五輪全国大会」は、平成25年11月22日～25日、千葉県をメイン会場に開催されます。

(2) 障がい者技能競技大会

障がい者の職業能力の開発等を促進し、技能労働者として社会に参加する自信と誇りを与えるとともに、広く障がい者に対する社会の理解と認識を高め、その雇用の促進と地位の向上を図ることを目的に、毎年、県大会を開催しています。

また、県では、県大会で優秀な成績を収めた選手の中から全国障害者技能競技大会「アビリンピック」に県代表選手を推薦するとともに、大会への参加支援のため、練習材料及びユニフォーム代の助成を行っています。

平成24年度は長野県で全国大会が開催され、県から10職種に10人が参加し、金賞1名、銀賞1名、銅賞2名、努力賞1名の成績を収めました。

なお、国際大会は平成23年9月25日～30日、大韓民国ソウルで開催され、50か国500人の選手が参加し、本県からは3職種3人が参加しました。

<平成25年度熊本県障がい者技能競技大会概要>

主 催：独立行政法人高齢・障害者・求職者雇用支援機構熊本障害者職業センター、熊本県

後 援：熊本労働局、熊本市、合志市、(福)熊本県身体障害者福祉団体連合会、(福)熊本県手をつなぐ育成会等を予定

開 催 日：平成25年12月1日（日）

競技会場：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本センター

実施競技：13職種77人

(3) 技能グランプリ

年齢に関係なく、特級、1級及び単一等級技能士による「技能日本一」を競う大会で、技能の一層の向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重気運の醸成に資することを目的として、昭和57年から開催されています。

また、平成15年度からは、隔年で開催されており、大会の優勝者には、内閣総理大臣賞、厚生労働大臣賞などが贈られます。

<第27回技能グランプリ概要>

主 催：中央職業能力開発協会、(社)全国技能士会連合会

開催期間：平成25年2月22日（金）～25日（月）

競技会場：幕張メッセ（千葉市）他

参加選手：全国 28職種482名

本県 5職種 5名

本県成績：銀賞1名、銅賞1名、敢闘賞1名

(4) 技能祭

技能のすばらしさ、大切さ等をアピールするし、技能尊重気運の醸成、技能継承及び技能後継者の確保育成、技能向上及び技能士の社会的地位向上を目的に開催しています。

< 2012年 熊本県技能祭概要 >

主 催：熊本県技能祭実行委員会
(委員会構成) 熊本県、熊本市、熊本県職業能力開発協会、
(社)熊本県技能士会連合会

開催期間：平成24年9月29日(土)～30日(日)

会 場：興南会館

内 容：各技能関係団体による作品の展示・即売・製作実演、ものづくり体験教室、ステージイベント等

(5) 職業能力開発促進大会

優秀技能者等への表彰式等を内容として、毎年、県と熊本県職業能力開発協会と(社)熊本県技能士会連合会とが共同で開催しています。

平成24年度は、11月22日(木)県庁本館地下大会議室において、関係者約130名の参加をもって、県知事表彰・県職業能力開発協会長表彰・技能士会連合会長表彰等の授与を行いました。

(6) 優秀技能者等の表彰

熊本県の表彰制度

優秀技能者、技能尊重推進功労者、認定職業訓練関係功労者及び認定職業訓練関係優良職員等の知事表彰を毎年実施しています。

国の表彰制度

国においては、人目につきにくい分野にあって多年にわたり業務に精励した方等に対する叙勲・褒章及び、職業能力開発関係(認定職業訓練及び技能決定に係る優良事業所、団体及び功労者並びに技能振興に係る優良事業所及び団体)並びに「卓越した技能者に対する厚生労働大臣表彰」が実施されています。

1 「卓越した技能者に対する厚生労働大臣表彰」

卓越した技能者を「現代の名工」として表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させようとする制度です。

技能者の認定制度

厚生労働省から委託を受けた中央職業能力開発協会が認定する「高度熟練技能者認定制度」²や、社団法人全国技能士会連合会が認定する「全技連マイスター認定制度」³などがあります。

2 「高度熟練技能者認定制度」

高度な技能を駆使して、高精度・高品質の製品・試作品等を作り出すことができる技能者を認定し、優れた熟練技能を継承する制度です。認定は平成21年度で終了していますが、引き続き認定者の活用が進められています。

3 「全技連マイスター認定制度」

技能・ものづくりに優れた実績を持ち、自ら有する技能伝承に関する高い志のもとに後継者への指導に意欲のある技能者を社団法人全国技能士会連合会が認定し、秀逸技能伝承の推進に寄与する制度です。

3 若年者のものづくり教育及び若年技能士の育成

(1) ものづくりチャレンジ事業

若年者を中心とするものづくり離れの解消や技能の後継者育成を目的とするものづくり教育・学習の円滑な推進に取り組んでいます。

「ものづくりチャレンジ教室」の実施支援

ものづくり学習実施申込のあった学校に技能士を派遣し、総合的な学習の時間や技術・家庭の時間又はPTA活動などを利用し、熟練技能士の指導の下に児童・生徒がものづくりを体験しました。

平成24年度は、小学校5校、中学校4校で530名の児童・生徒がものづくり体験に取り組みました。

*平成25年度は6校を実施

平成24年度「ものづくりチャレンジ教室」実施状況(単位:人)

学校名	市町村名	職種数	児童数 生徒数	技能士 派遣数
1 御所浦北小学校	上天草市	1	10	4
2 矢部中学校	山都町	5	129	23
3 大野中学校	芦北町	1	8	4
4 教良木中学校	天草市	2	35	11
5 宇土東小学校	宇土市	4	111	28
6 渡小学校	球磨郡	1	22	2
7 砂取小学校	熊本市	11	85	31
8 湯島小学校	上天草市	1	7	2
9 岱明中学校	玉名市	5	123	27
合計		31職種	530	132

「専門高校生による小・中学生実技講習会」の開催

高校生が、地域の小中学生に対して実技指導を行いました。

平成24年度は、7校が事業に取り組み、236名の小・中学校の児童・生徒に実技講習を行いました。

主 催：熊本県・熊本県教育委員会

*平成25年度は、7校で13回の実技講習会を389名の小中学生を対象に実施予定。

平成24年度「専門高校生による小・中学生実技講習会」実施状況(単位:人)

学校名	実施項目	指導対象者	人数
天草工業高等学校	ソーラーキットを用いたロボットの製作	中学生	10
天草工業高等学校	ダイナモLEDライトの製作	中学生	5
天草工業高等学校	木工作品制作	中学生	3
天草工業高等学校	遠心スイッチで光るオルゴールごまの製作	中学生	8
八代工業高等学校	木材加工	中学生	12
八代工業高等学校	光るネームプレートの製作	中学生	10
八代工業高等学校	電子オルゴールの製作～「太陽の光で音楽を聴こう」～	中学生	中止
球磨工業高等学校	夏の和み～ネーム入りパーベキューコンロの製作～	中学生	9
球磨工業高等学校	エネルギー学習会(ダイナモ発電機の設計・製作)	中学生	10
御船高等学校	マイコンとLEDを使ったクリスマスツリーの製作	小学生	22
鹿本農業高等学校	大豆栽培と食品加工	小学生	83
南陵高等学校	パンづくり(創作パン)	小学生	55
熊本工業高等学校	エコバックの製作(染色と縫製)	中学生	9
合 計			236

(2) 電動モビリティ技術教育推進事業

平成23年度から、県内の小学生から大学生に対して、教育機関、民間団体、自動車メーカー及び関係行政機関が連携して、電気自動車や電動二輪車などの次世代パーソナルモビリティ（「電動モビリティ」）に関する知識及技術教育を行い、「熊本県産業振興ビジョン」の重点成長分野であるモビリティ及びクリーン関連分野に対応した産業人材の育成を推進しています。

電動モビリティ技術普及啓発事業

県内の高校及び大学等の中から認定した「電動モビリティ普及啓発サポーター校」（平成25年度は18校）の主催により、県内の小・中学生を対象とした電動モビリティ体験教室等を随時実施する。

電動モビリティ技術講習会実施事業

電動モビリティ普及啓発サポーター校の生徒・学生に対して、電動モビリティに関する専門的知識及び技術の習得を目的とした講習を実施する。
（平成24年度：2回実施、平成25年度：2回実施）

EVフェスティバル開催支援

電動モビリティ普及啓発サポーター校の生徒・学生が製作したエコ電カーによるレース及びEV等の展示や関連取組みの紹介を行う「EVフェスティバル九州inくまもと」の開催を支援し、サポーター校の技術向上と技術力アピール及び県民へのEV普及と環境保全意識の醸成を図る。
（開催日 平成25年10月13日、12月14日～15日）

(3) 高校生の就業支援等プロジェクト事業

平成23年度から、県内の専門高校生、教員を対象に、県内の企業技術者や熟練技能者を講師として、教育課程のみでは取得できない高度な技術、実践的な技術・技能の習得に取り組むことで、自己の職業適性を把握するとともに、高校生の技術技能を向上させ、就職率の向上等を目指し、下記の事業に取り組んでいます。

技術・技能向上講習会

就職等に有利となる資格取得等、授業だけでは取得できない技術の実技指導による講習会を実施します。
（普通旋盤作業・電子機器組立・フライス盤作業・マシニングセンタ・アーク溶接・フラワー装飾）等

各種技能競技大会に向けた強化講習会

高校生ものづくりコンテスト県大会等の成績をもとに教育委員会および私学振興課が、指定校を定め、九州大会・全国大会にむけた強化講習会を実施します。
（高校生ものづくりコンテスト強化選手講習・若年者ものづくり競技大会強化講習・技能五輪強化選手講習 等）

専門高校教員のための実技指導講習会

指導力向上のための教員を対象とした講習会を実施します。実施内容は技術・技能向上講習会と同様。